

最近の経済情勢 2019 年 6 月号

ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等 (5 月発表の経済指標)

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、5 月 31 日時点で、GDP 成長率予測については、2019 年は 1.13%で先週 1.23%から 0.1%減少、2020 年は 2.50%で先週と変わらず。インフレ率については、2019 年は 4.03%で先週 4.07%から 0.04%減少、2020 年も 4.00%で先週と変わらず。

(イ) 3 月の鉱工業生産指数は、前月比▲1.3%、前年同月比▲6.1%を記録。

(ウ) 3 月の小売売上高は、前年同月比+0.3%、前月比▲4.5%を記録。

(エ) 全国の失業率 (2~4 月の移動平均) は 12.5%となり、前回の公表値 (12.7% : 1~3 月の移動平均) より改善した。

(オ) 4 月の貿易収支は、輸出額は 196.99 億ドル (前年同月比▲0.08%、前月比+8.42%)、輸入額は 136.28 億ドル (前年同月比▲1.19%、前月比+3.80%) で、差引き 60.70 億ドル (前年同月比+2.51%、前月比+20.45%) となり、50 か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 4 月の拡大消費者物価指数 (IPCA) は単月で+0.57%となり、前月の+0.75%から減少した。12 ヶ月の累計では 4.94%となり、政府のインフレ目標 (4.25%±1.5%) 内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) 5 月 30 日、政府は 2019 年第 1 四半期の GDP 成長率を発表。前期比▲0.2%、前年同期比+0.5%。前期比でマイナスを記録するのは、2016 年第 4 四半期以来。

(イ) 5 月 22 日、下院憲法・司法委員会で税制改革案 (議員立法案) が承認。6 月中旬以降、下院特別委員会での審議が始まる見込み。

(ウ) 5 月 28 日、省の数を 29 から 22 に削減する省庁編成に関する暫定措置令が上院で可決され、同令が成立。モロー法務大臣が希望していた金融活動監視委員会 (Coaf) の法務・

治安省への移管は実現せず、引き続き経済省が Coaf を管轄する事になった。

(3) 中銀の金融政策等

金融政策委員会が 5 月 7 日及び 8 日に開催され、政策金利を年 6.50% に据え置くことを決定。据え置きは 9 会合連続。次回会合は 6 月 18 日及び 19 日開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 5 月の為替レートは、月央に年初来最安値となる 1 ドル=4.1 レアル近くまでレアル安を更新した後、月末に 1 ドル=3.9 レアルまで買い戻される値幅の大きい展開。

(イ) 月の前半は、年金制度改革を巡る報道でレアルが売られた。米中貿易摩擦、政府高官の汚職疑惑、経済に対するネガティブな報道からレアルが大きく値を下げた。

(ウ) 月の後半は、年初来最安値を記録した後、年金制度改革及び税制改革の承認ムードの高まりや、政府支援集会の開催、中銀の資本市場改革案等が好感を得たことからレアルが買い戻された。

(5) 株式市場

(ア) 5 月のブラジルの株式相場 (Ibovespa 指数) は、米中貿易摩擦の悪化の影響を受けて月央にかけて株安へ向かい、90,000 ポイントを割るも、月末にかけては買い戻しが進み、97,000 ポイントまで値を戻した。

(イ) 月の前半は、年金制度改革を巡る報道で株安傾向。米中貿易摩擦悪化の報を受け、投資家心理が悪化し、心理的節目となる 90,000 ポイントを割った。

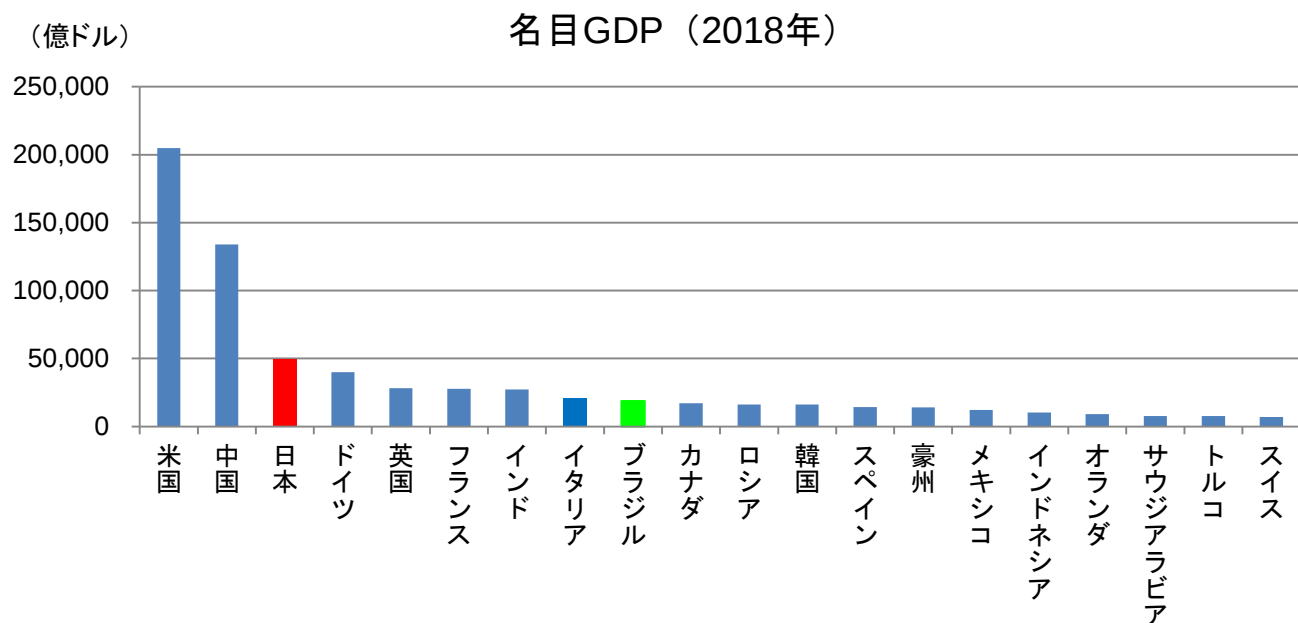
(ウ) 月の後半は、年金制度改革及び税制改革の承認ムードの高まりや、政府支援集会等を好感し、97,000 ポイントまで値を戻した。

ブラジル経済・二国間経済関係概観

2019 年 5 月

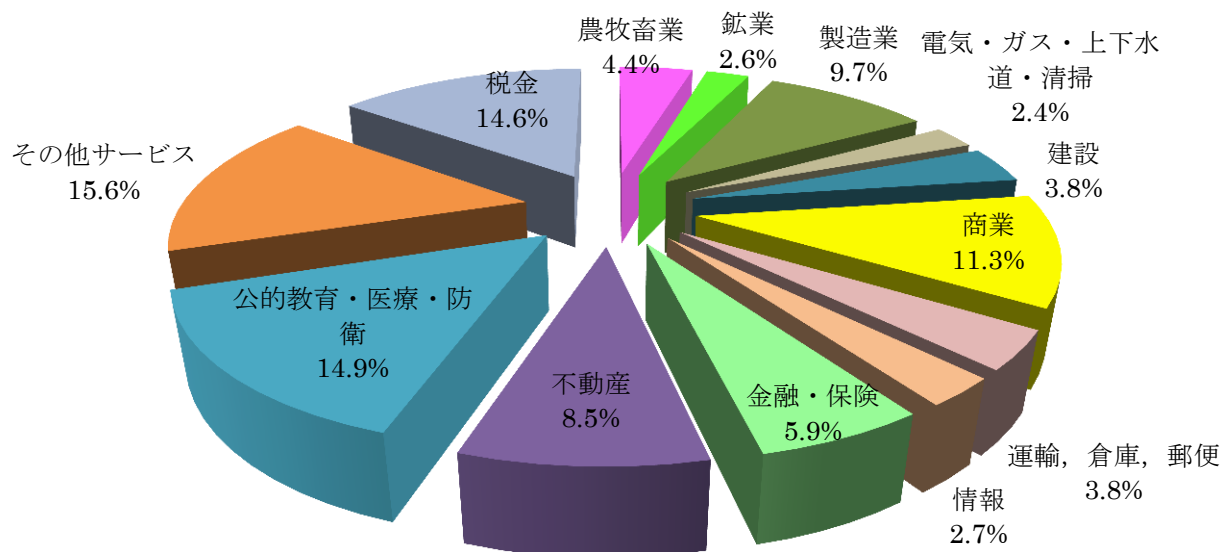
I . 経済構造

- ・ 世界第9位の経済規模(日本の約 38%)。一人当たり GDP では日本の約 25%。
- ・ 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産額では第三次産業が高いウェイトを占めている。



(出典)IMF

セクター別GDP (名目) 構成比 (2018年)

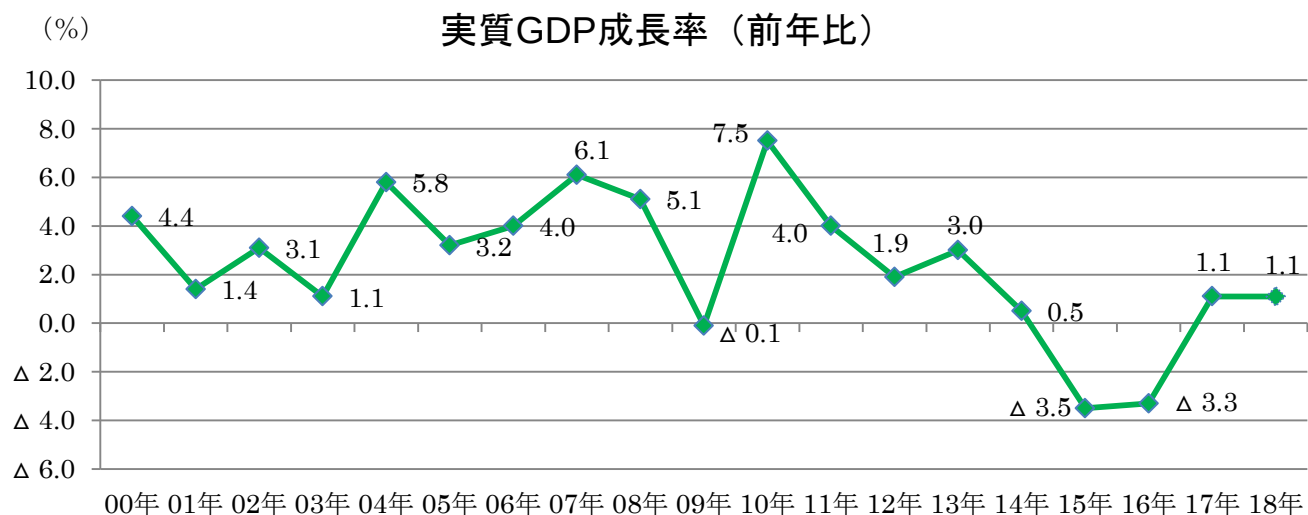


(出典)ブラジル地理統計院 (IBGE)

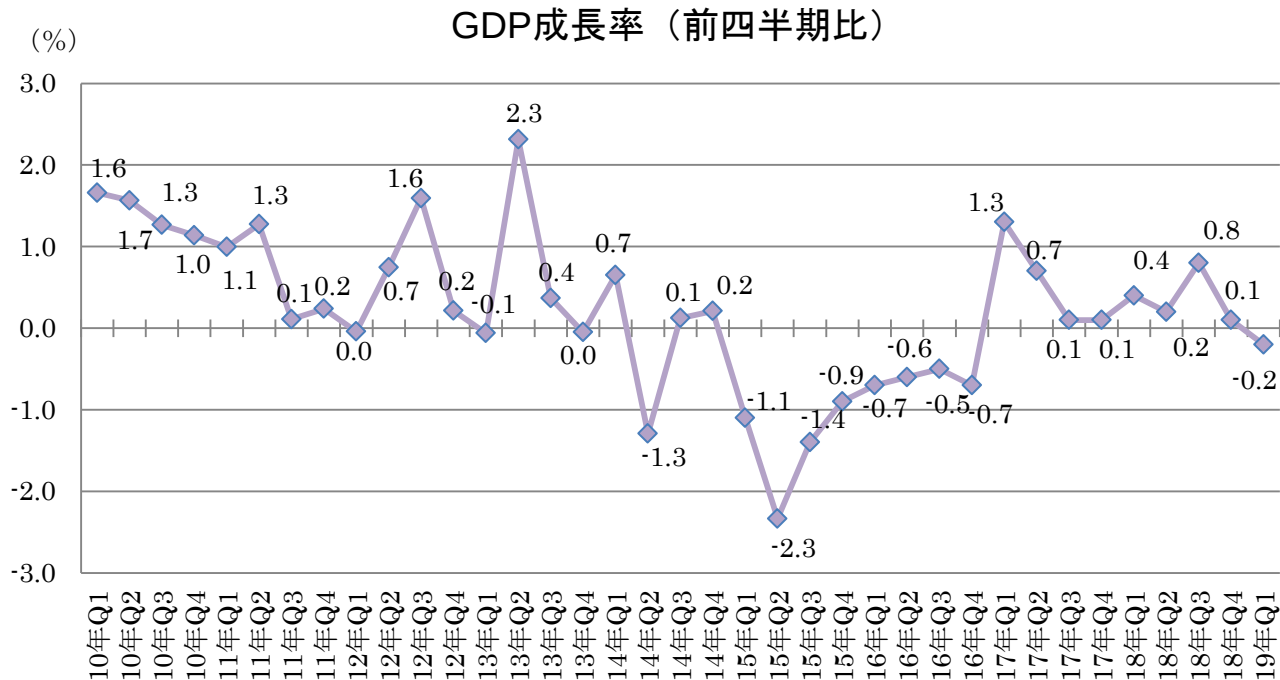
Ⅱ．経済の現状

1. GDP 成長率

2019 年第 1 四半期の GDP 成長率は、前期比－0.1%、前年比+0.5%増となった。



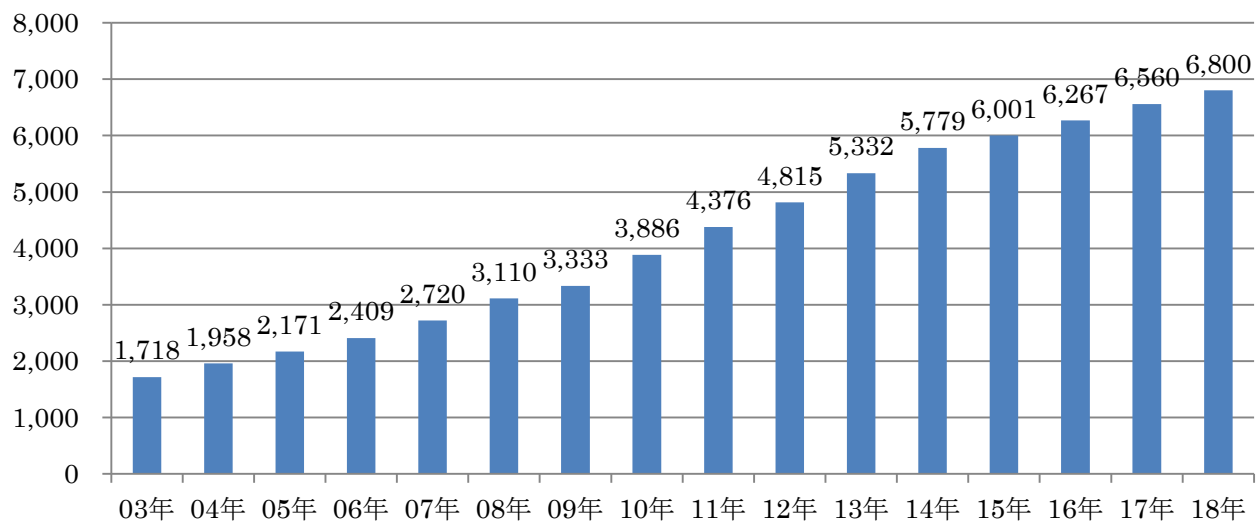
（出典）ブラジル地理統計院（IBGE）



（出典）ブラジル地理統計院（IBGE）

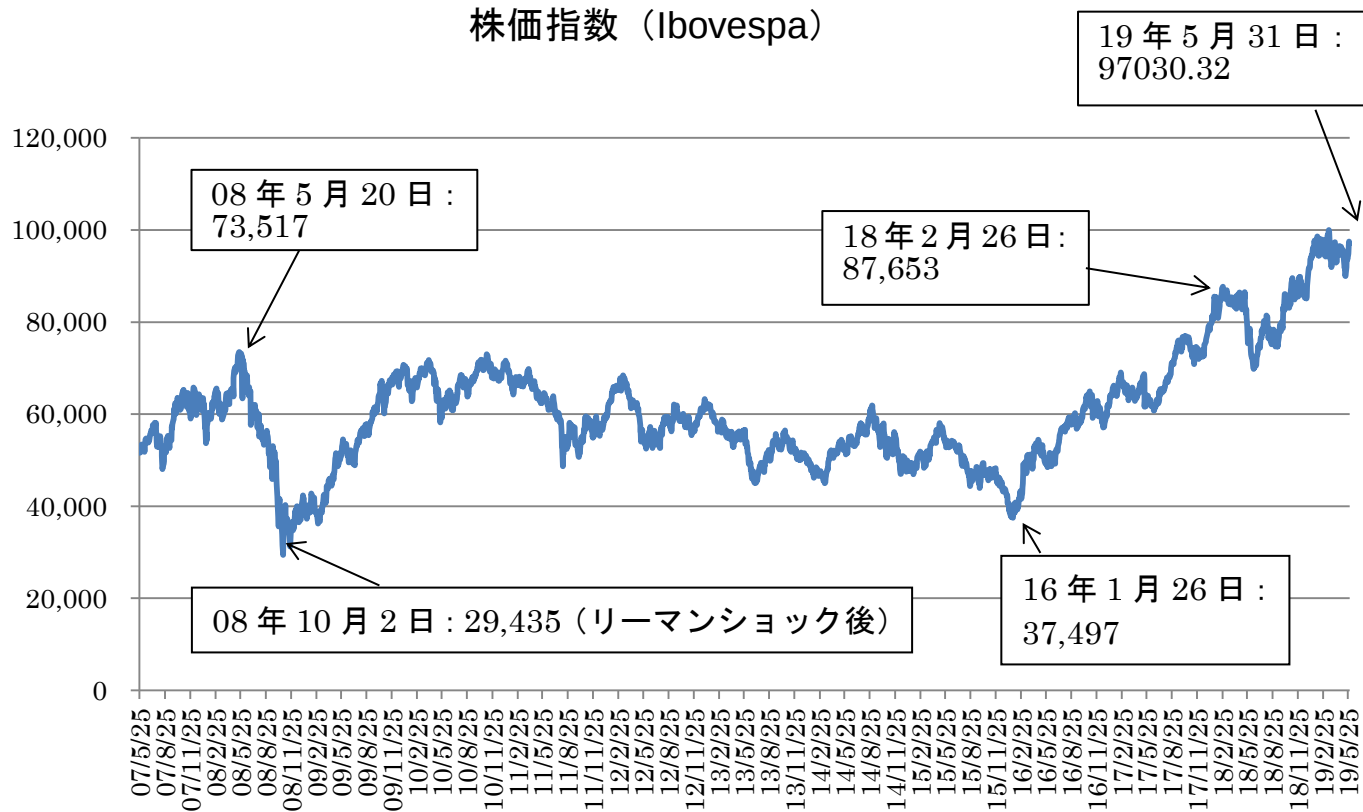
名目GDP額

(10億レアル)



(出典) ブラジル地理統計院 (IBGE)

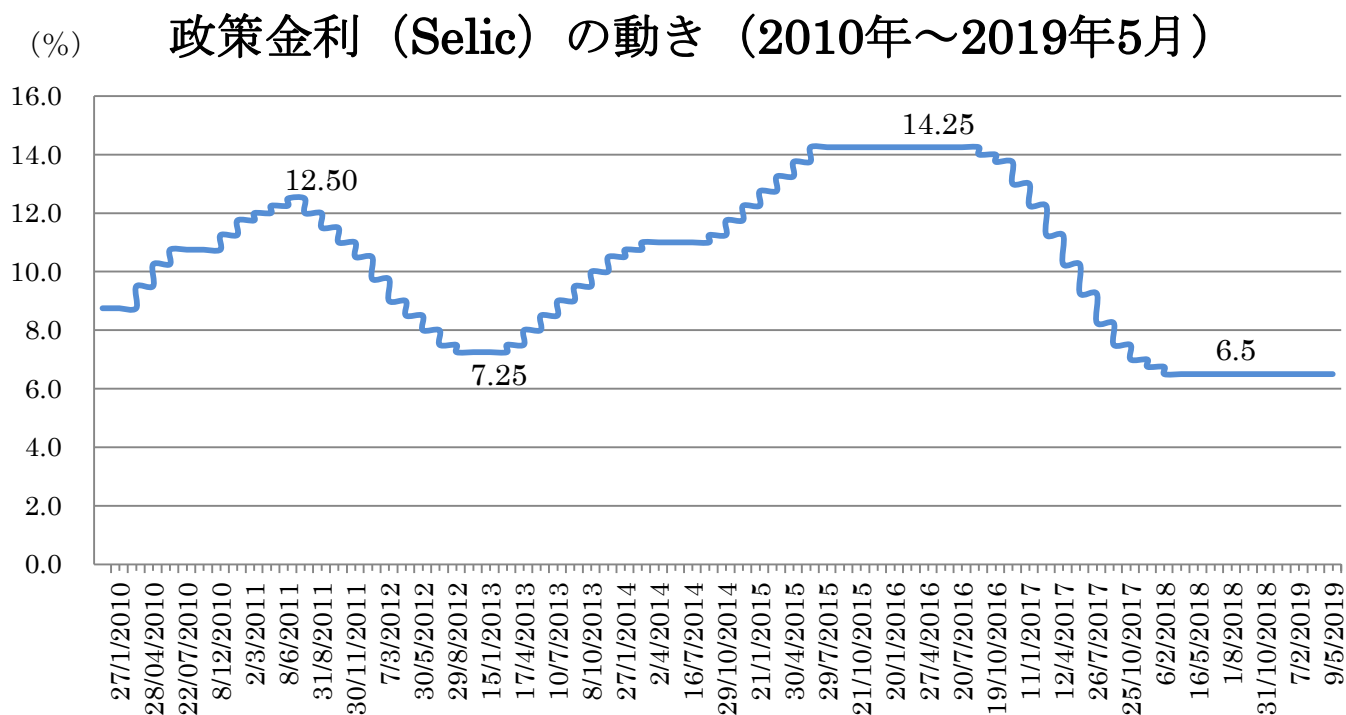
株価指数 (Ibovespa)



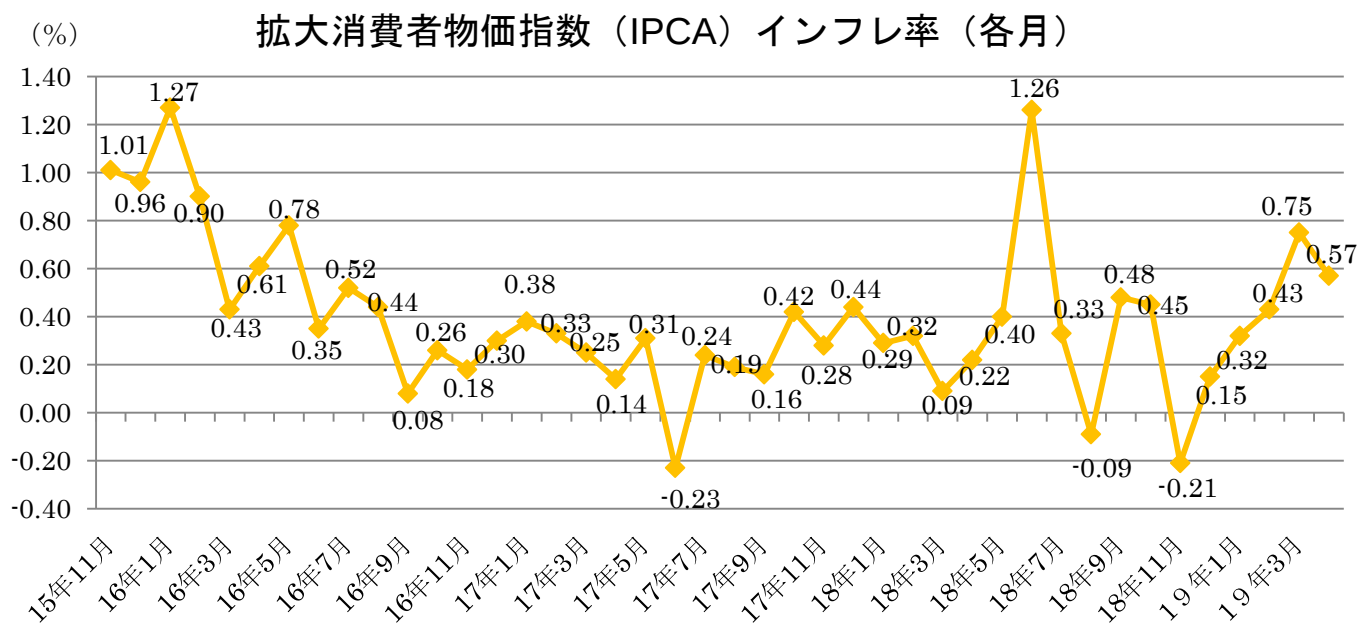
(出典) B3

2. 金利、インフレ動向

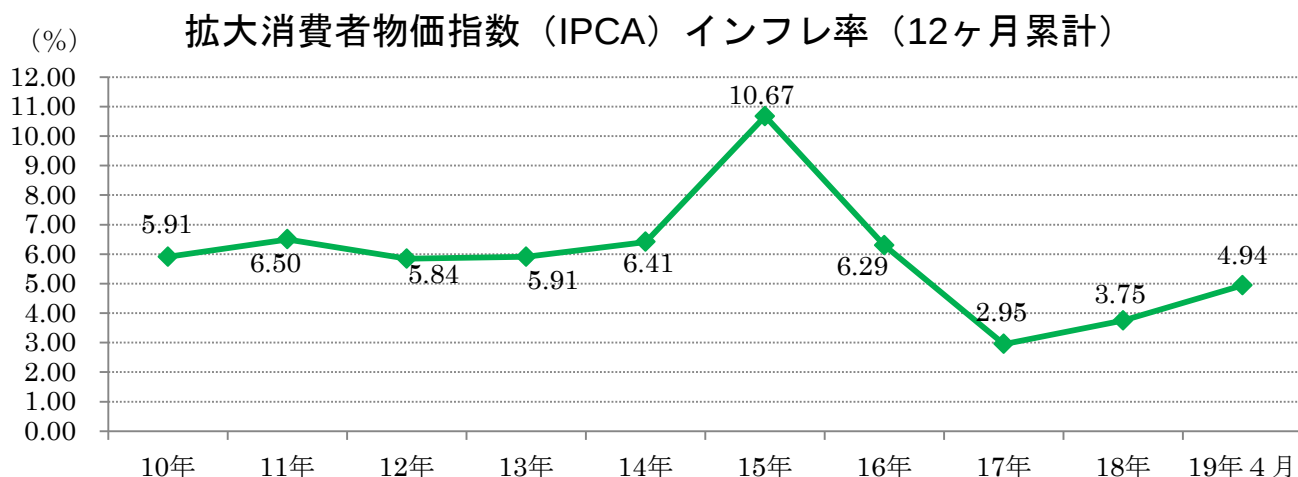
5月8日、ブラジル中央銀行の金融政策委員会は、政策金利（Selic）を年率 6.50% に据え置くことを全会一致で決定した。
政策金利の据え置き決定は、9 会合連続となった。



（出典）ブラジル中央銀行



（出典）ブラジル地理統計院



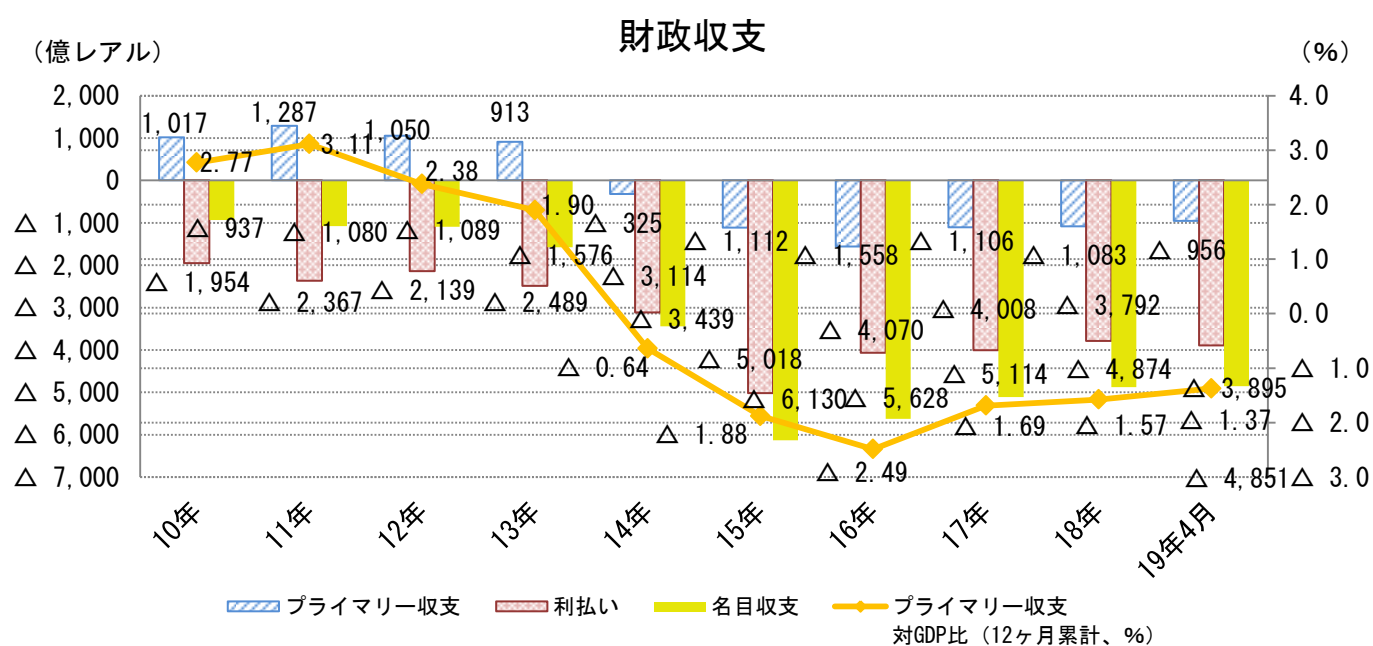
(出典) ブラジル地理統計院

3. 財政収支

2018 年 12 月 19 日、連邦議会は、2019 年度の連邦政府予算案を承認した。本予算案では、連邦政府のプライマリーバランスは▲1,390 億レアルの赤字を見込んでいる。

	プライマリーバランス (億レアル)	利払い (億レアル)	名目収支 (億レアル)	プライマリーバランス対 GDP 比
19 年 4 月	△956	△3,895	△4,851	△1.37%

※12 ヶ月累計



(出典) ブラジル中央銀行

年度別税収

(億リアル)

	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
税収	14,603	15,716	17,371	18,439	19,255	20,212	21,274
連邦政府	10,221	10,853	11,972	12,610	13,163	13,819	14,471
州政府	3,574	3,952	4,389	4,683	4,893	5,145	5,471
市政府	808	911	1,010	1,146	1,199	1,248	1,332
対GDP比	33.4%	32.7%	32.7%	32.4%	32.1%	32.3%	32.4%

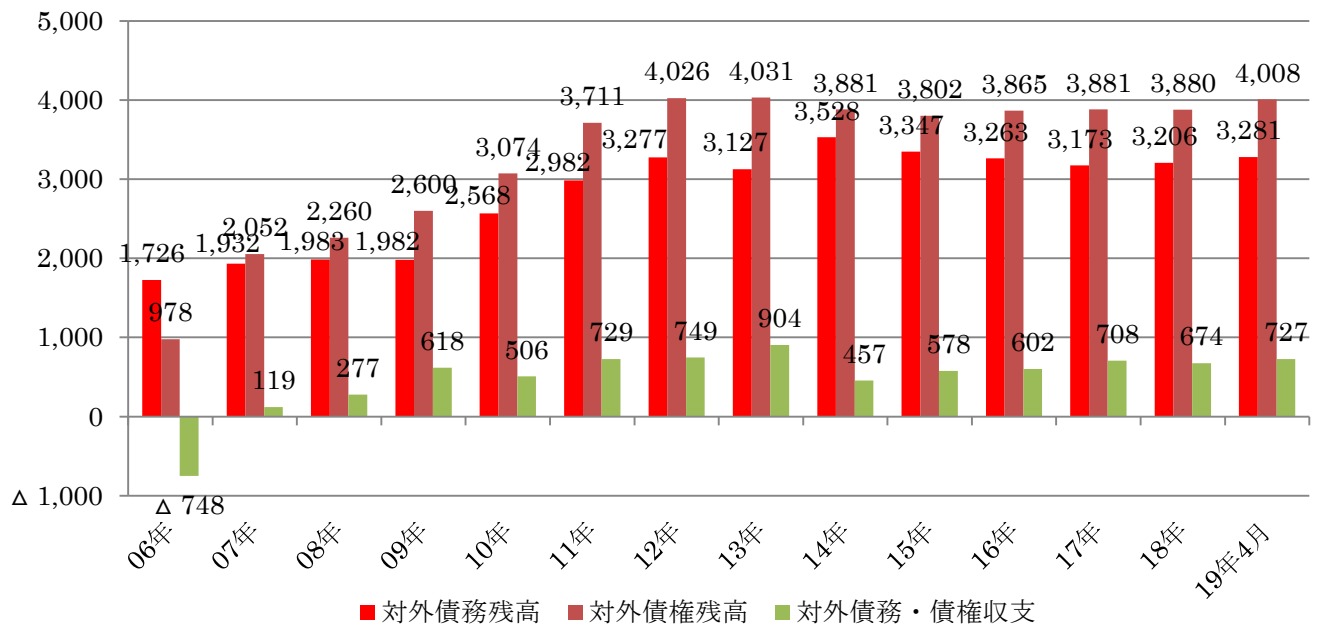
(出典) 連邦歳入庁

4. 対外債務

過去に大幅な対外債務に苦しんだブラジルであるが、2007 年以降は対外債権（外貨準備高、対外融資等）が対外債務を上回り、純債権国となっている。

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) ブラジル中央銀行

5. 国際収支

2018 年の経常収支、貿易収支、対内直接投資は各々、△145 億ドル、536 億ドル、883 億ドルであった。

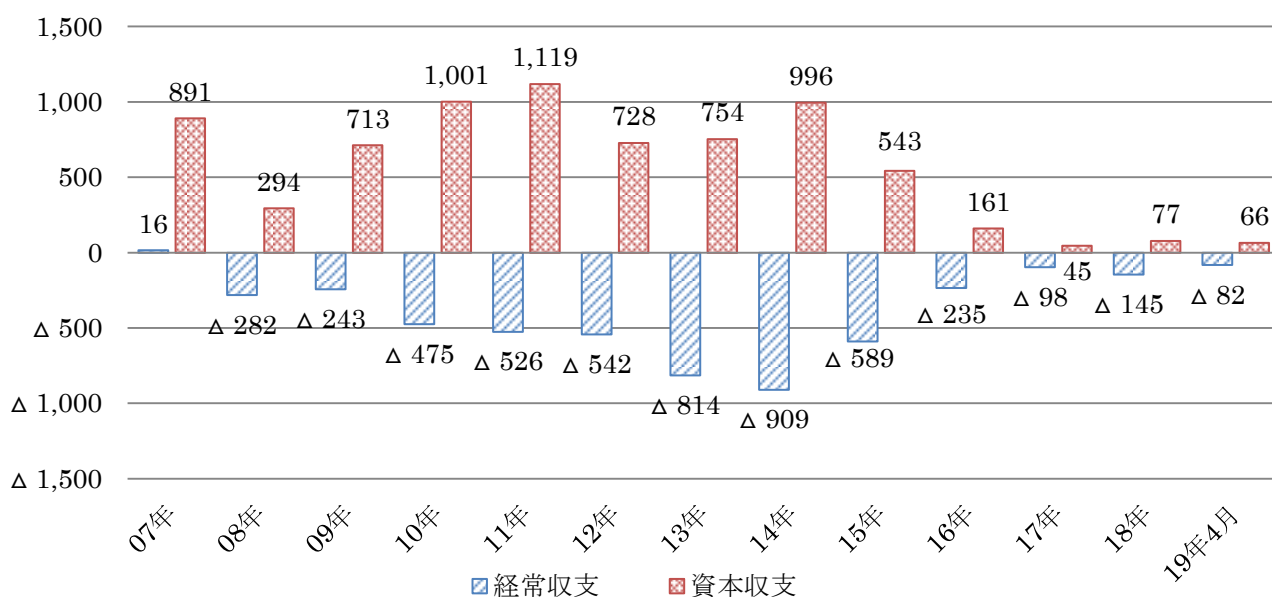
(億ドル)

	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年 4 月
経常収支	△526	△542	△814	△909	△589	△235	△98	△145	△82
貿易収支	298	194	26	△39	177	450	640	536	149
サービス・所得収支	△852	△765	△873	△889	△793	△715	△764	△706	△240
経常移転収支	28	28	34	19	27	29	26	25	9
資本収支	1119	728	754	996	543	161	45	89	66
投資収支	1103	746	742	990	547	164	49	93	67
直接投資	760	681	675	660	880	910	766	1024	366
対外直接投資	93	28	35	35	135	128	63	141	85
対内直接投資	667	653	640	625	745	782	703	883	281
証券投資	251	83	258	300	220	△192	△152	△117	20
デリバティブ	0	0.3	1.1	△15.7	34.5	△9.7	7.1	27.5	9.5
その他投資	92	△18	△193	45	233	215	382	475	76
その他資本収支	16	△19	12	6	4	3	4	4	1
誤差・脱漏	△6	4	1	22	37	69	45	48	14

(出典) ブラジル中央銀行

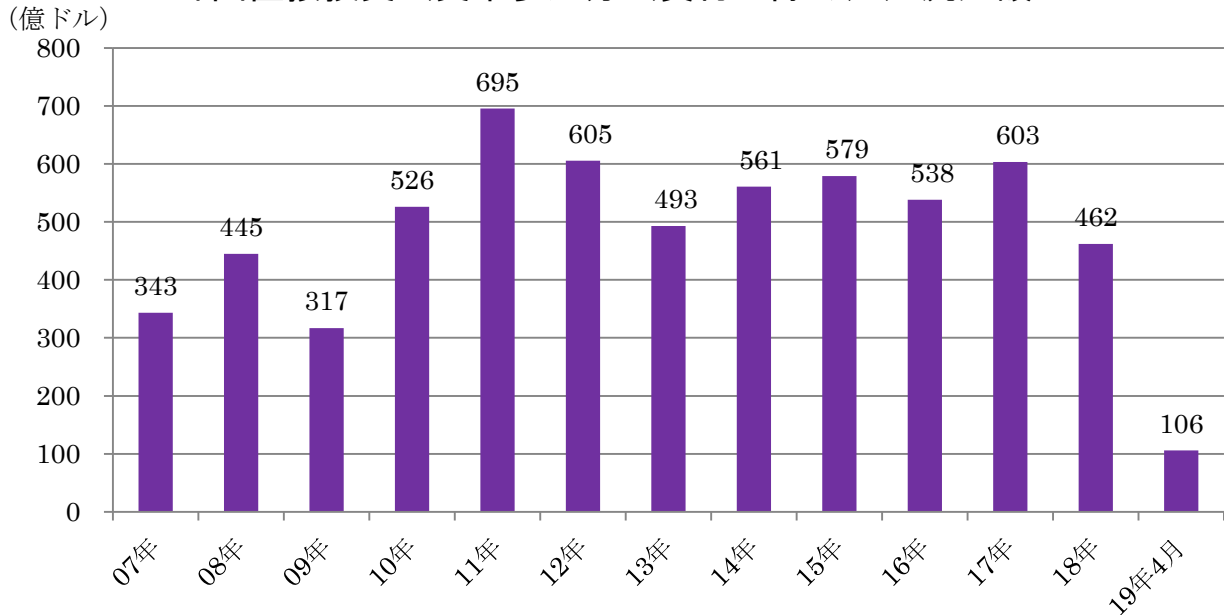
経常収支、資本収支

(億ドル)



(出典) ブラジル中央銀行

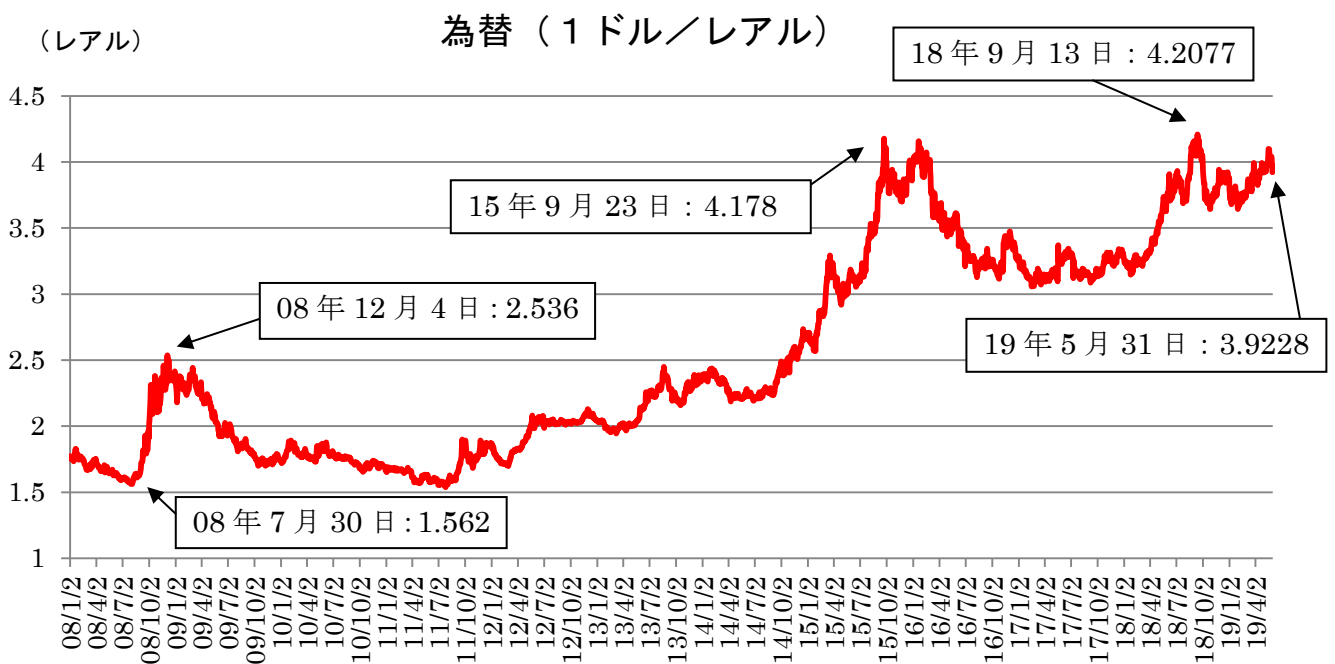
外国直接投資（資本参加分（貸付は除く））流入額

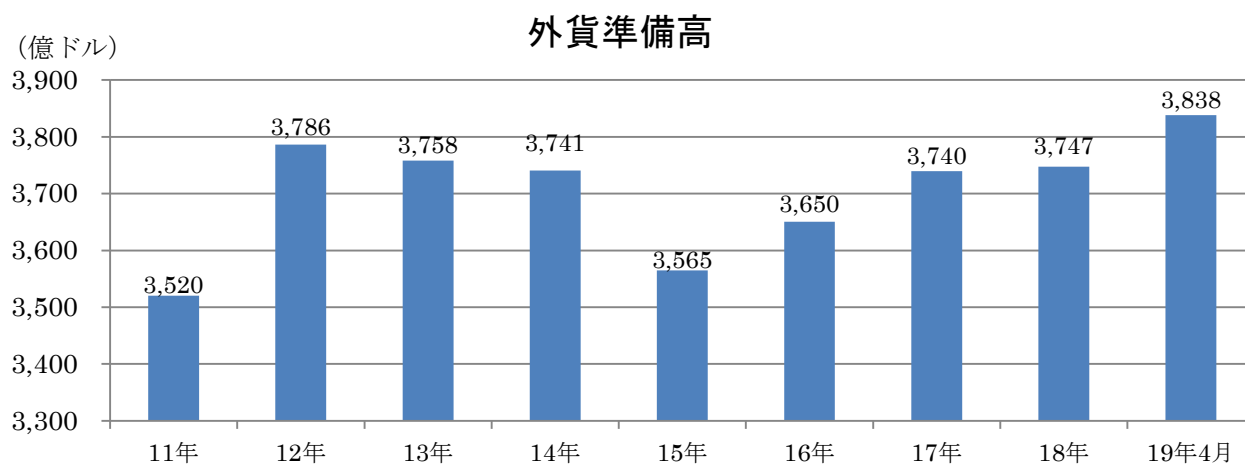


(出典) ブラジル中央銀行

6. 為替・外貨準備高

4月の為替レートは、1ドル=3.9~4.0 レアル台で推移。月の前半は、米中貿易摩擦の悪化や教育予算削減反対デモ、大統領子息の汚職捜査報道によりレアルが売られ、月半ばには1ドル=4 レアルを突破。月の後半は、一時的に1ドル=4.1 レアル台となったが、年金制度改革や税制改革の議会審議で楽観的な見方が広がったこと、中銀の資本市場改革案に市場が好感を持ったことからレアルが買い戻され、終値は1ドル=3.9228 レアルとなった。

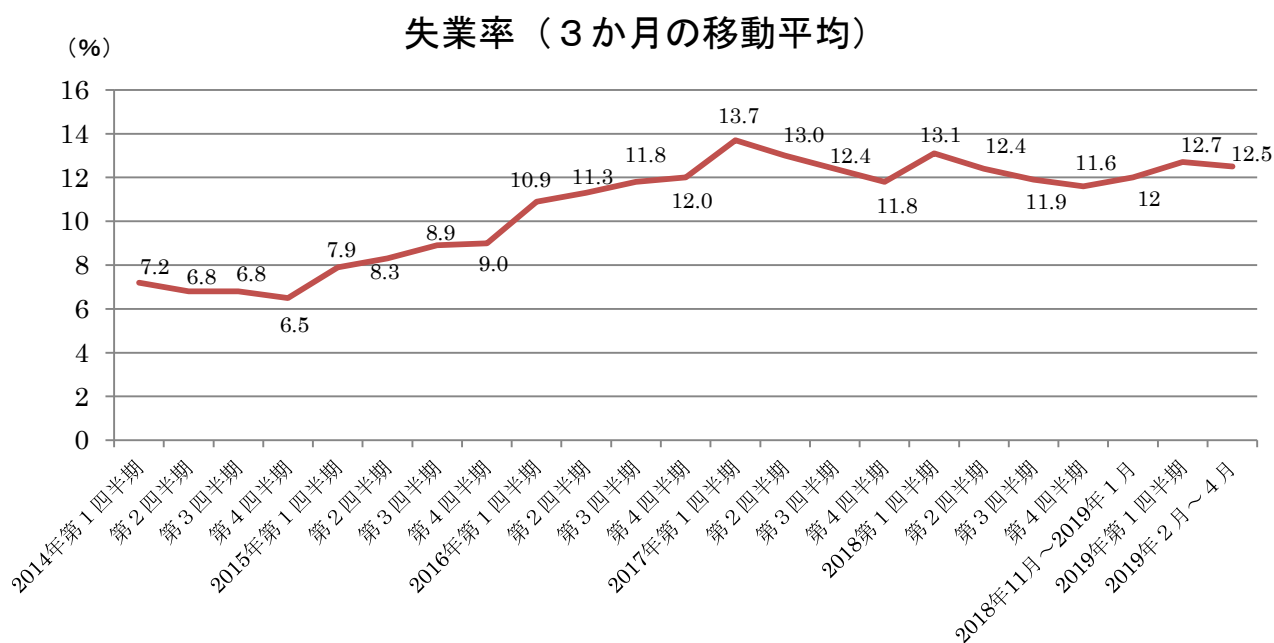




(出典) ブラジル中央銀行

7. 労働市場

2019年第2四半期の全国の平均失業率は12.5%となった。
平均賃金は、2295リアルとなった。

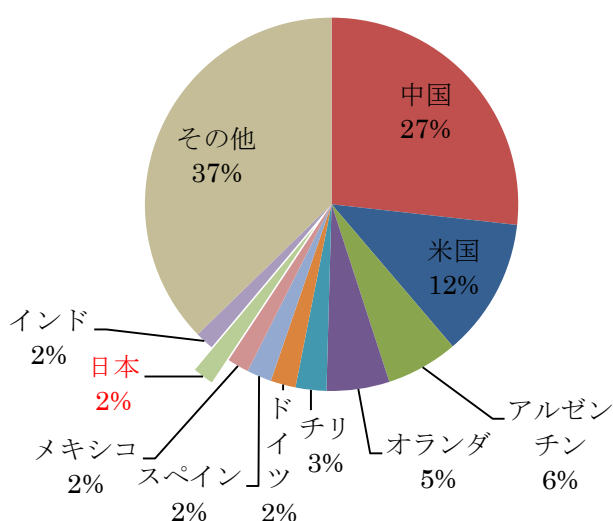


(出典) ブラジル地理統計院

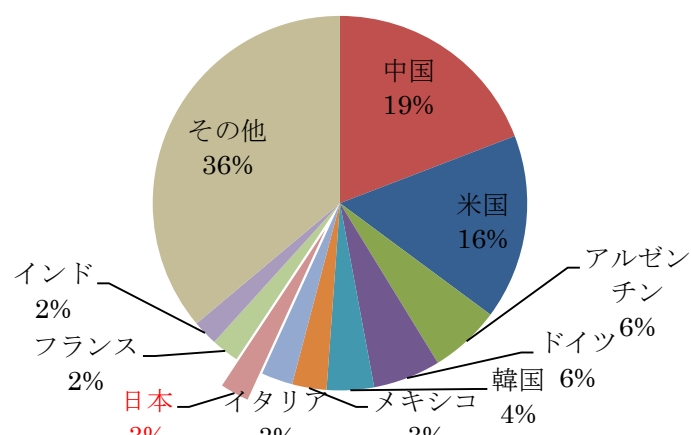
Ⅲ. 日伯貿易

- ・ ブラジルの貿易は輸出・輸入とも中国、米国、アルゼンチンが上位を占め、日本の占めるウェイトはこれらの国と比べると小さい。
- ・ 対日輸出は、鉄鉱石、鶏肉、トウモロコシ、コーヒー等の一次産品が中心。対日輸入は乗用車輸送用機器部品等の製品が中心。

ブラジルの輸出相手国（2018年）
（総額2,398.89億米ドル）

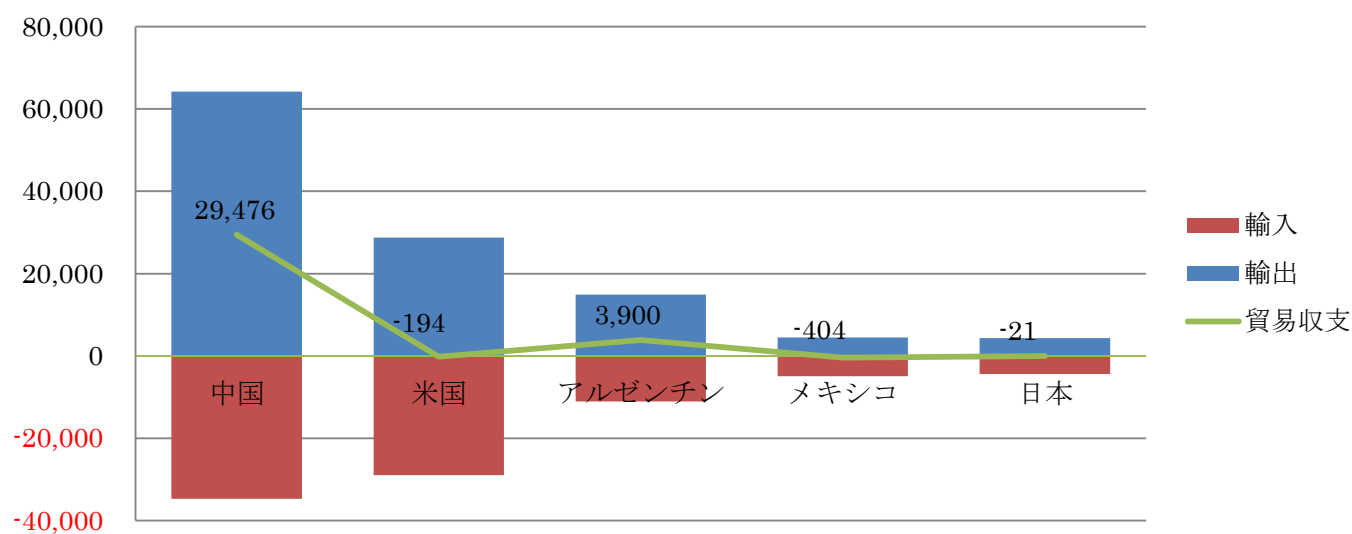


ブラジルの輸入相手国（2018年）
（1,912.31億米ドル）



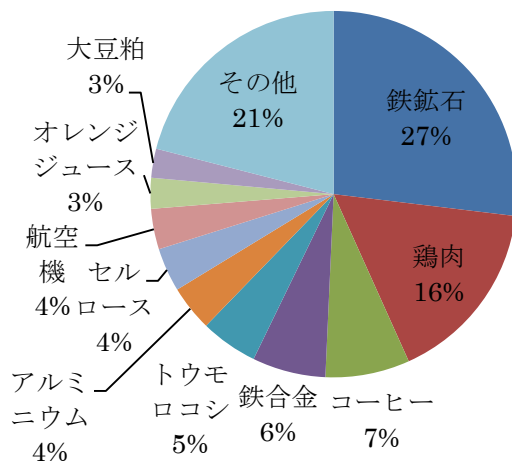
出典：ブラジル経済省

ブラジルの主要国別貿易収支（2018年）

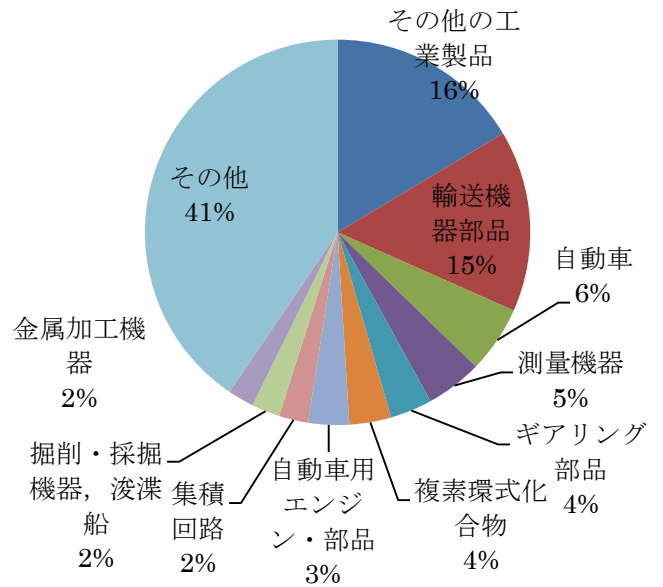


（出典）ブラジル経済省

ブラジルの対日輸出
(2018年：総額43.34億ドル)



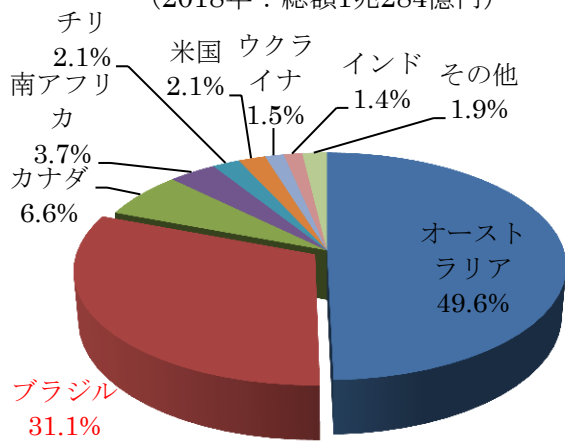
ブラジルの対日輸入
(2018年：総額43.56億ドル)



出典：ブラジル経済省

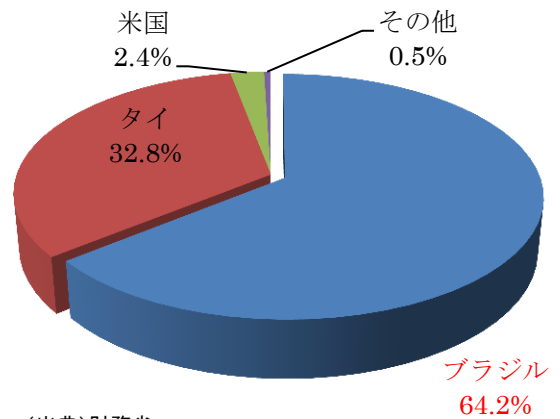
日本の全輸入額に占めるブラジルのシェア(対ブラジル主要輸入品)

鉄鉱石の国別輸入割合
(2018年：総額1兆284億円)



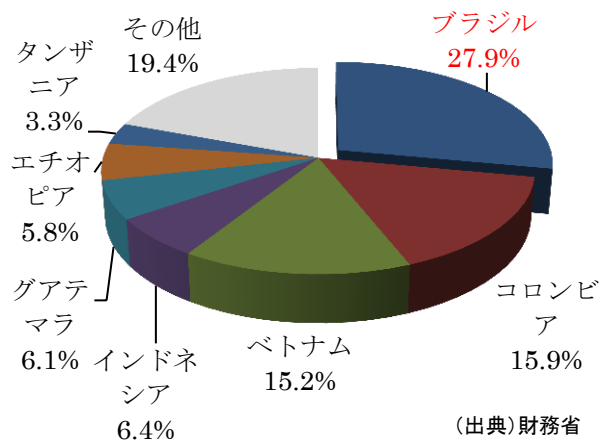
(出典)財務省

鶏肉の国別輸入割合
(2018年：総額1313億円)

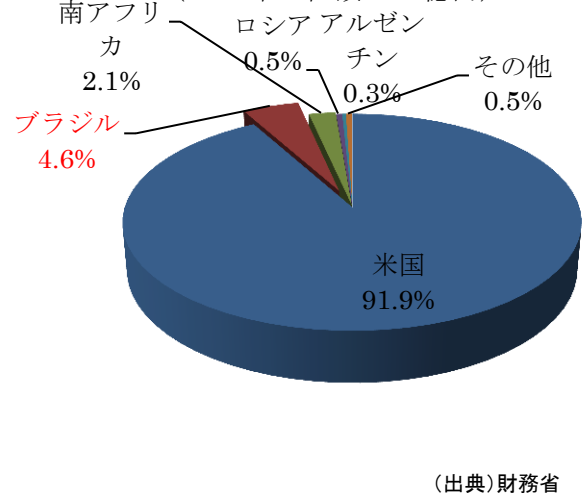


(出典)財務省

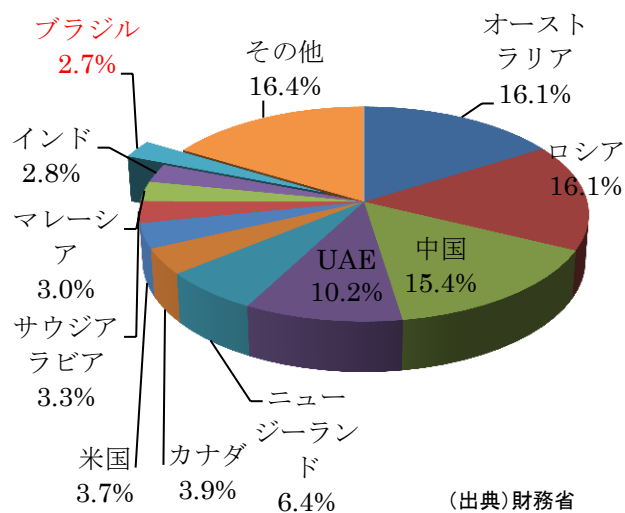
コーヒーの国別輸入割合
(2018年：総額1607億円)



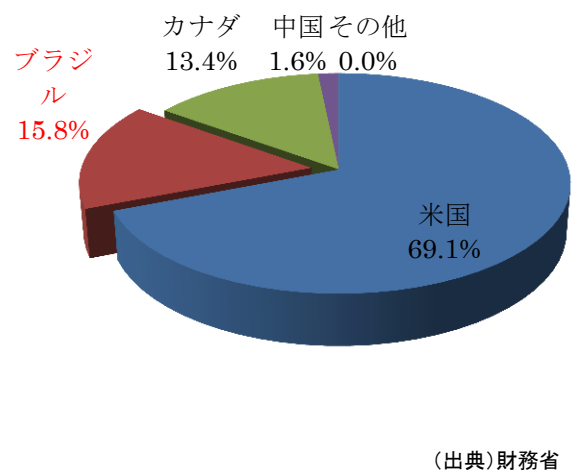
トウモロコシの国別輸入割合
(2018年：総額3725億円)



アルミニウム及び同合金の国別輸入割合
(2018年：総額8201億円)

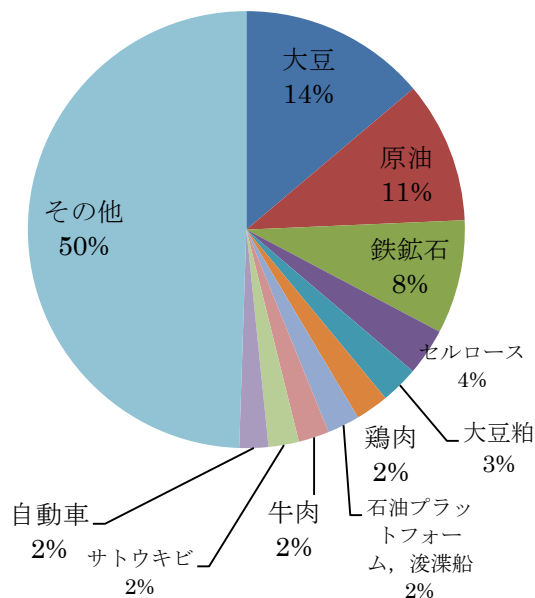


大豆の国別輸入割合
(2018年：総額1701億円)

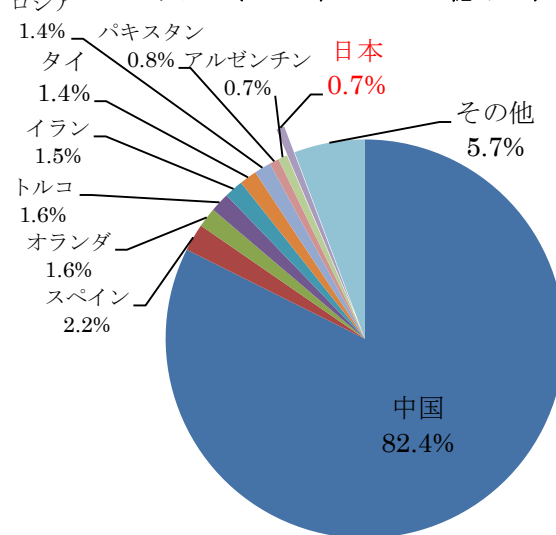


ブラジル主要輸出品割合・相手国別内訳 （出典：ブラジル経済省）

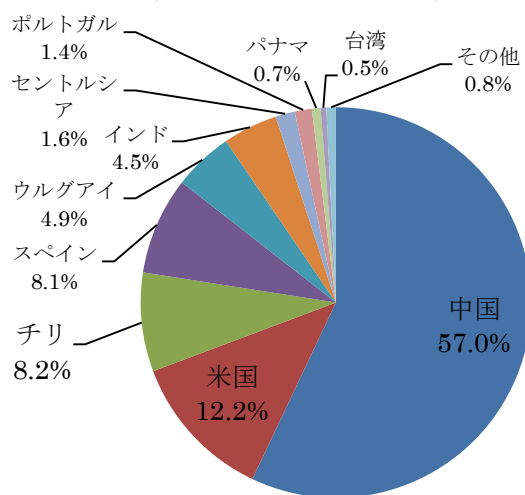
主要輸出品
（2018年：純輸出額2398.89億ドル）



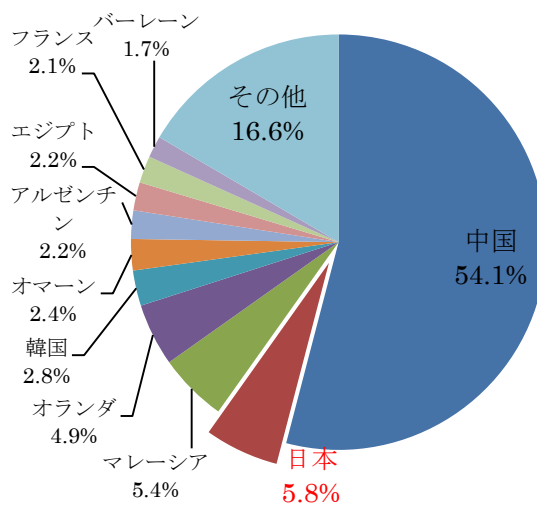
大豆（2018年：331.91億ドル）

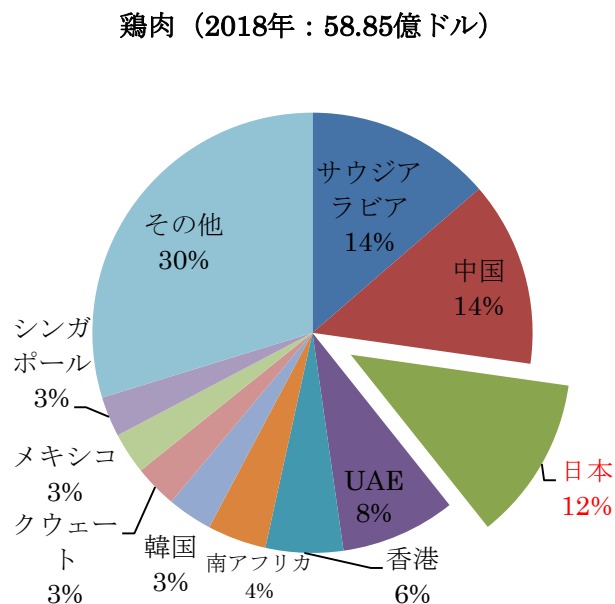
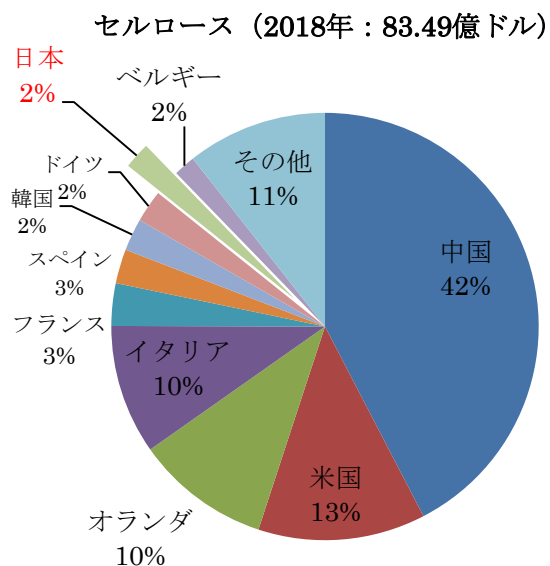


原油（2018年：251.31億ドル）

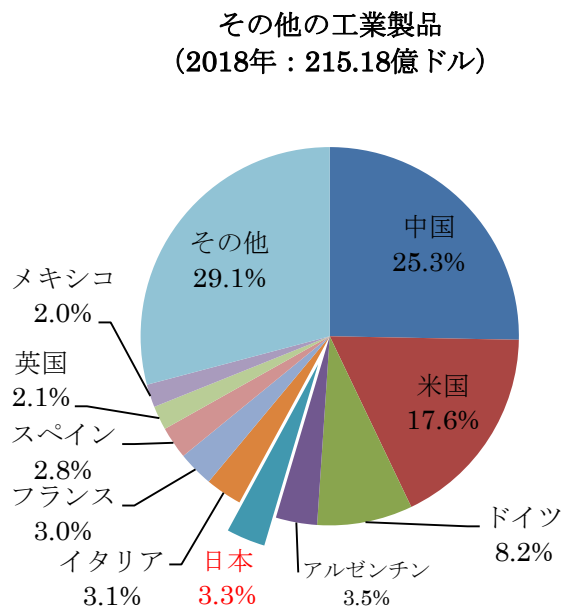
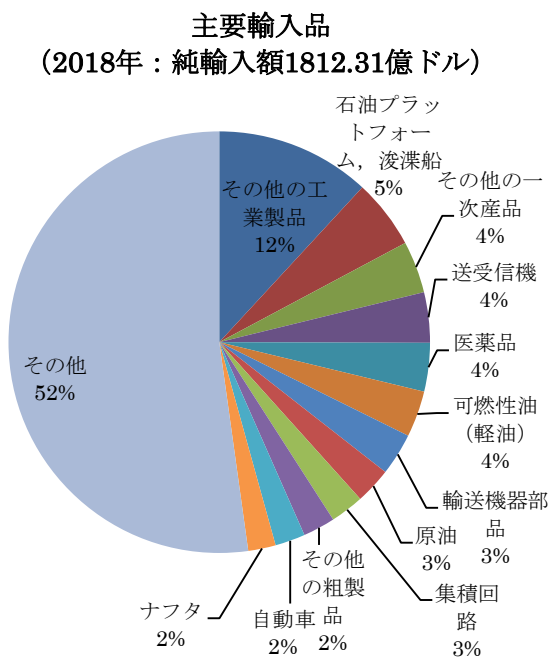


鉄鉱石（2018年：202.16億ドル）

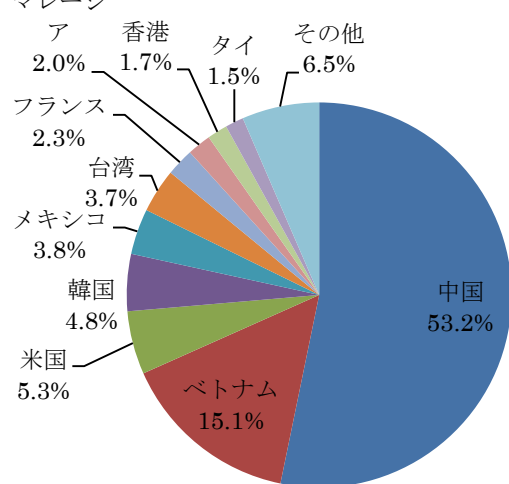




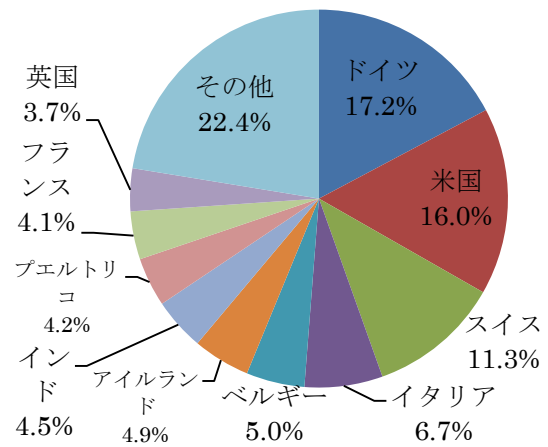
ブラジル主要輸入品の割合・相手国別内訳（出典：ブラジル経済省）



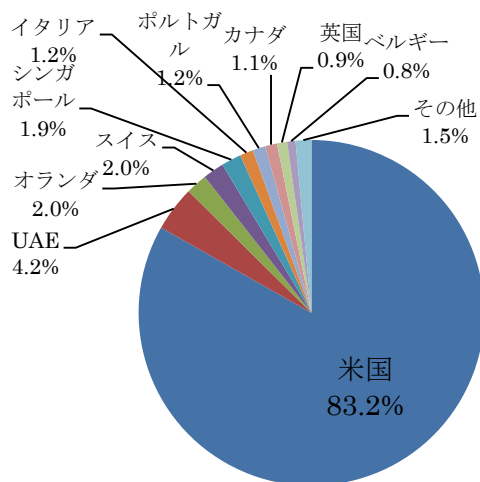
通信機器（2018年：69.98億ドル）



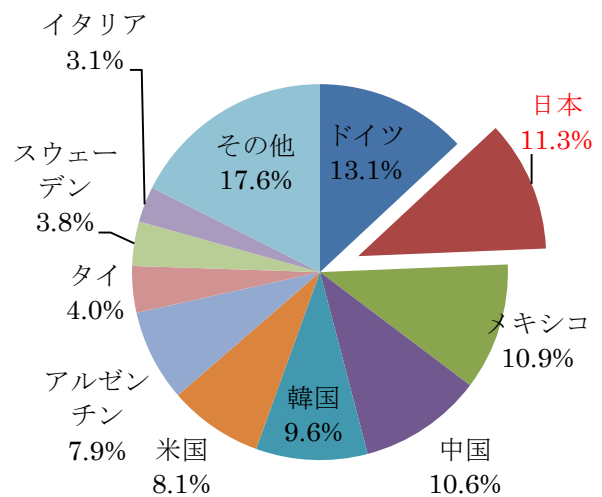
医薬品（2018年：67.50億ドル）



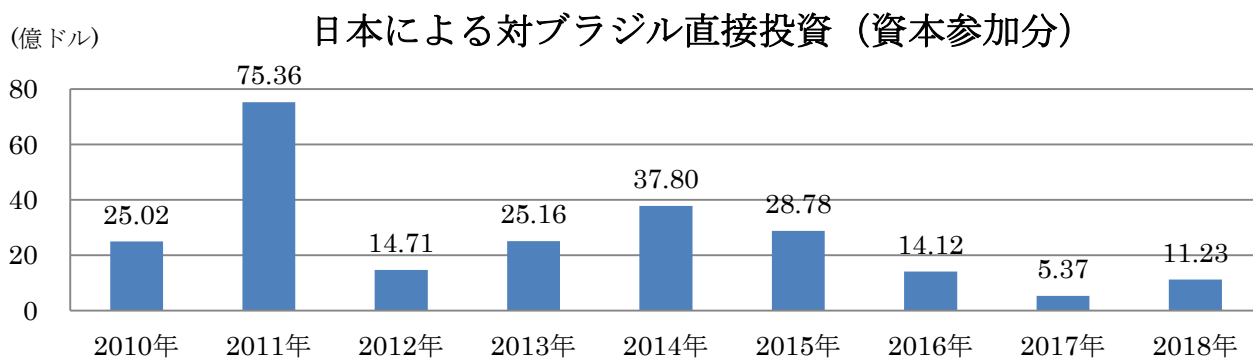
可燃油（2018年：64.24億ドル）



輸送機器部品（2018年：58.73億ドル）

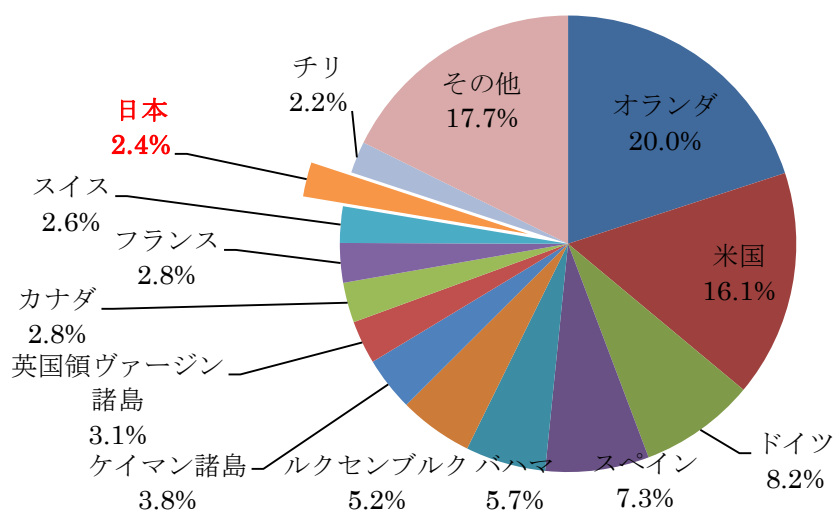


IV. 日伯投資

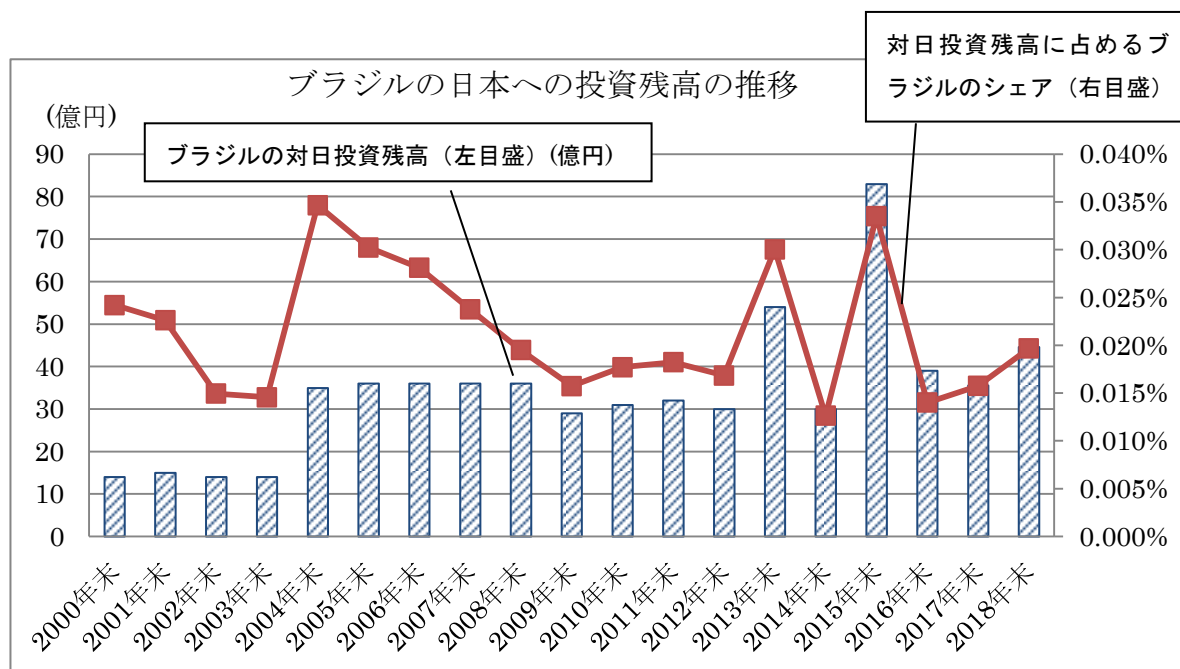


(出典) ブラジル中央銀行

対ブラジル直接投資（資本参加分，総額461,87億米ドル）



(出典) ブラジル中央銀行



(出典) 日本銀行